

# ふらっぶ通信

第15号

社会福祉法人  
なつな学園  
サヒスセンター  
ふらっぶ

「君を信じている」

滝沢 一人

あまり興味のない方もおられるでしょうが、突然サッカーアジア杯の話です。初戦のヨルダンとの試合では、初スタメンとなった吉田が後半ロスタイムに同点弾！準々決勝力タール戦でも、代役として起用したDF伊野波が試合終了間際にゴールをあげた。宿敵韓国戦では、失態続きの「君を信じてる」って囁かれたゴールキーパーの上に、サッカーの神が降臨しました。そして決勝戦での李選手の決勝ボレーへとつながったわけです。監督が送り出した選手が、次々に見事期待に応えヒーローとなったことは、偶然ではなく必然であったと感じます。

「君を信じている」と言って選手を鼓舞するらしいです。「選手との関係はクリアであるべき。選手を知ることで役割を与えることができる。性格をわかっていないとダメ」という彼の「目配り」と「気配り」が、短期間で代表チームをひとつにしたのでしよう。アジアカップの日本の戦いぶりには本当に勇気づけられました。私が感じたザック監督のチーム作りの印象は、選手の適正を見極めて適材適所に使っていることや（職員の配置や課業によってそれぞれのモチベーションは変化しますね）、独断で決めずに選手の意見を尊重している感じ（トップダウンではなく、ポトムアップちゅうやつですな）、俺が俺がと意気込んでるエゴイストたちに「チーム一丸」なんて古臭い表現を使わせてチーム内にあからさまな一体感を醸し出している感じがスゲーって思います。出来ることなら私もあの輪の中に入りたいって思うような素敵な空気感がチームの中に感じられました。就任間もない彼が、優秀な通訳は居るにしても、言葉の通じない曲者たちとの間になぜこんなにもスムーズにコミュニケーションがとられたのか？とても興味があります。今回の大会のMVPに監督があげたのは、フィールドプレイヤーで唯一出場の無かった森脇選手だというのが彼のチーム作りを物語っているのかも知れません。

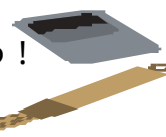
ザックロー二の選考基準（方向性）も興味深いです。以下4つの条件（1）技術（タレント）、（2）チームの和、（3）フィジカルコンディション、（4）向上心。監督の選考基準はそのままのカタチでサッカー選手じゃない我々にも通用する要素ですね。私も微力ながら職員の方々に適材適所でやる気になってもらい、仲間・相手の意見を尊重し、素敵な空気感をもった福祉チーム作りに今一度取り組んで！って意気込んでいます。しかし、世間は言います。子をみれば、親がわかり、部下をみれば、上司がわかる。人が勝手に一人で育つことはない。人は育てたようにしか育っていかない。自分のまわりにいる人は、自分の鏡である。相手がそうしているのは、自分がそうしてきたから。相手が本気にならないのは、自分が本気になっていないから。怒らないとやらないのは、怒ってやらせてきたから。相手を変えたければ自分が変わればよい。人を育てたければ、自分が育ち続ける様を見せなければならぬ。厳しいです。現実。12月末をもちまして、皆さんに長くお世話になりました元古幸子さんが退職となりました。皆さまから頂いたご愛顧にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。永く一緒に取り組んできた仲間が去っていくのは、寂しい限りです。しかし別れは出会いの創造でもあります。来るべき春に向け、まずは花粉症対策ですかね。

ふらっぶ職員に聞きました！  
 「私にとって幸せなこと」  
 2011年卯年！今年もよろしくお祈いします



今年は元旦に雪も降り、例年に比べ冷え込が  
 厳しいなあーと感じています。  
 皆さんいかがお過ごしでしょうか？

今年卯年です。飛躍の年です  
 2011年も張り切ってまいりましょーう！



私にとって幸せな事。写真を撮っている時、好きなものを食べている時、利用者さんの笑顔を見ている時、甲子園で夕イガースの応援している時。  
 いろいろありますが、一番はこうやって普通に生活できている事だと思います。寝て、食べて、仕事に行って利用者さんと一緒に楽しむ。  
 当たり前の事のようにですが、以前病気のため長期入院した事があるので、この平凡な毎日、それが私にとって一番幸せな事だと思います。

塩野

心身ともに健康でいられること  
 であわせを感じる事ができる  
 年齢になってしまいました。  
 そんな感じで平穩無事に過ごして  
 行ければいいかなと思っています。  
 日々の支援では利用者さんの笑顔、  
 特に何か上手に出来た時の笑顔を  
 見せて頂くと、こちらもとてもし  
 あわせな気持ちになります。  
 あと今年の冬はとても寒いですね。  
 熱いお風呂につかる時とてもし  
 あわせです (\*^o^\*)

山口

これまでは一人で気ままな旅をして、  
 美しい景色をみて、温泉に入ることが幸  
 せでした。もちろん今も一人旅は好きで  
 す。しかし今は、夫と二人で旅行に行つ  
 て、ご当地のお酒と食材を飲み食べする  
 ことです。  
 真つ昼間からビールを 夜は旅先の居  
 酒屋でお刺身と地酒を これが非日常を  
 味わえる格別なる至福の瞬間です。  
 こんなことを通信に書いてしまつてはい  
 けないと思いましたが、これが本当のこ  
 とでしたので書きました。これが私の仕  
 事の原動力のうちの一つです。

篠原

一番に思い浮かんだことは、一日  
 終えて布団に入る瞬間です。特に、  
 目覚ましをかけなくて良い休日の  
 前の晩は「あゝ明日はめっちゃ寝  
 よう!!!」と意気込んで寝ます。  
 私にとって寝る休日はたまらなく  
 幸せですね。次の日出勤し、一日  
 寝てた話を職員に話すと「他に何  
 か用事ないんですか?」とツツ  
 コまれますが、人は人、自分は自  
 分!で良い休日を送れていると胸  
 を張っていいこうと思えます(笑)

霞末

一人暮らしをしている私は、実家に帰ってホッとする時やみんなとワイワイしている時が幸せです。実家は本当に一番ホッとできる場所です。ホッとできる場所があるというのはいいことですね。一人だと、帰っても会話する相手もいないですし、休みはスーパリーのレジで一言二言交わす程度の時も・・・ご飯も一人で食べるより、大勢でワイワイ食べる方がおいしいですね！そして、傍で支えてくれてくれる人がいるということが幸せだなと思います。三宅



私にとって幸せ事、家族も元気で大きな災いもなく普通に過ごせているという事自体、「おお!!よく考えたら幸せだ」と思います。欲を出していうと、大好きなおやつを食べている時、これは幸せです。美味しい物とめぐり合ったときの幸せは言い表せられませんが(笑)また、この寒い冬、あったかいお風呂で温まり、ぬくぬくの布団に潜り込む。そして翌朝昼前まで眠る。これも、極上の幸せです。藤本

そもそも幸せとは「瞬間」的なものですかね。私的にはほぼ毎日、最低でも一回くらいは幸せな瞬間あるんじゃないかな。グビグビブハッ””する時とか、お風呂で“極楽じゃー”って吐息を洩らす時等々が幸せなことです。いつかの金八先生の名台詞にこんなのがありました。“幸せになろうと思わないで下さい。幸せをつかみに行つて幸せをつかんだ人は1人もいません。幸せは感じるものです”同感です。ポジティブに物をとらえる心、楽天主義みたいなことが大切なんではないかな。幸せを手に入れるんじゃない。幸せを感じることでできる心を手に入れるべきですな。Life is Good!! 滝沢

私にとって幸せなこと、趣味の話しになつてしましますが釣りに行き、釣り糸を垂らしている時です。最近は何つきり機会が減つてしまいましたが、大きい海の下、ただ黙々と目の前にいるはずの魚の事だけを考えていられる時間がとても幸せに感じます。こういった時間を使わせていただけのもまたとても幸せなことなんだなあとふと思いました。武野

汗だくで走り回つてへとへとになつてからの冷たい水。かたいごつごつしたおかき、甘いあんが入った饅頭を食べた後のあつあつ濃い緑茶。たまりませんです。自分にとつて「幸せ」というのは、すぐ後で感じられるのですが、おそらくその時は「ありがたいことやなあ」と感じる時が幸せなときなんやろうと思います。中川

いつもお世話になつておりました。ご報告が遅く申し訳ありません。なりました。が昨年12月にはわたたくし武野、入籍させていたいただきました。これまでの生活に大きな変化は・・・特別なありませんが、家庭を持つというものを感じて責任というものを感ふらつぷでの勤務の中には特に何か変わることは無く、今まで通りではあります。が、今まではよりもしっかりと張りつたいと思つておりますので、今後とも宜しくお願いいたします。武野



昨年12月をもちましてふらっぶを退職し、新たな生活を送ることとなりました。

本当は皆様お一人お一人お顔を見てご挨拶をしたかったのですが、このような形となり申し訳ありません。利用者さん・ご家族の方々・職場の仲間には大変お世話になりました。ふらっぶに勤めて4年と10ヶ月という短いようで長い時間でした。利用者さんの生活とじかに触れ、苦労や喜びを共に過ごし、自身も成長できた時間であったと感謝しております。仕事を始めて2、3年を過ぎた頃、この仕事の意味を深く考える時期がありました。こうして少し離れてみると思い出すのはあの頃の自分です。仕事に慣れ、少し生意気に振る舞い失敗したり、仕事の達成感を感じることも出来たのもこの頃です。「この仕事の意味って何だろう？」社会に障害理解を伝えることだろうか、もしくは私自身の生活の安泰、いえ私自身の成長のため・・・様々あげることができましたがどれもピンときません。そんな時テレビで「仕事とは明日をよくするため」という言葉が耳にとまり、えらく共感したことがあります。私たちの仕事は明日につながる・・・。普段の仕事は単調で家事支援や入浴支援の内容は日々ころころと変わるものではありません。しかし、いつか終わりがくると同じで明日に変化をもたらず可能性だつて含んでいくのだと思うと、そんな一瞬一瞬が尊く感じられました。関わる中で少しづつですが変化がありその人その人の成長や環境の変化を感じることができません。進歩ばかりではなく現状維持も良いことだと思えます。たくさんの人に出会い、そして去っていく・・・。その多くのお会いの中には直接ふれあつた人間でしか感じるこの出来のない人間の变化・本質のようなものがあつたと思えます。ここで学んだことはこれから自分の糧となり、新たな発見や興味に繋がっていくと思えます。これからも明日を良くする、そんな支援者でありたいと思えます。

皆さんとの素敵な出会いに感謝し、また会える日を楽しみに過ごしたいと思います。ご健康で過ごされることをお祈りしております。

2011・2 元古幸子

### 編集後記

気づけばもう今年度も残すところあと一ヶ月半になりましたね。今年度の夏は暑過ぎ、冬は寒過ぎ。私たちは仕事上、屋外に出かける事が多いので本当に鍛えられた一年だったなあ。と、ふと感じている今日この頃です。個人的には汗かきなのでジリジリ焼かれる夏よりも、この冬の寒さの方がまだ過ごしやすいので、なるべく長い間冬が続けばいいのになあと思っております。しかし、私の移動手段はほぼ自転車なのでこんな真冬でも、利用者さん宅にお迎えに到着するとすでに汗をタラタラかいている日もしばしばあります。そんな時は上着を脱いでクールダウンしてから訪問していただきますが、道行く人からは「こんなに寒いのに！」という目で見られます(笑)

汗を一年中かけるとは素晴らしい事やな！と前向きに、今日も市内を駆け回りたいと思います。